



東京シンフォニエッタ 第38回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 38th Subscription Concert

“徒勞”？ それから？

“In Vain”? and then?

2015年12月10日 木 19:00

19:00 Thursday, 10th December 2015

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

指揮：板倉康明

Conductor : Yasuaki Itakura

演奏：東京シンフォニエッタ

Ensemble : Tokyo Sinfonietta

イン・ワン(1976-)

焦点軸 - ホックニーの響き(2010/2014)

第35回入野賞受賞、日本初演

Ying Wang(1976-) : FOCUS AXIS-sound with Hockney (2010/2014)

The 35th Irino Prize, Japan Premiere

ゲオルク・フリードリヒ・ハース(1953-)

イン・ヴェイン(2000)

日本初演

Georg Friedrich Haas (1953-) : in vain for 24 instruments (2000)

Japan Premiere

入場料：一般4,000円／学生2,000円（全席自由）

主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金

公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

ごあいさつ

今回の定期は前回と異なり、挑戦的な作品を取り上げてみます。タイトルにもあるように、初演後すぐ、世界中で高く評価され、問題＝話題作となった、ハースの“*In Vain*”をメインに据えました。彼の独特の世界はさまざまな演奏家から愛され、特にこの作品については、サー・サイモン・ラトルが「21世紀の主要作品」とまで語っている作品です。演奏時間70分を要し、微分音程により作品は構築されています。ミュライユなどのパリのスペクトル楽派から学び、影響を受けていますが、そこにとどまることなく、彼の感性から思索を深めて行き、いわゆるパリ楽派とは明確な一線を画しています。ハースによれば、この作品については彼の同国人の大先輩である「フランツ・シューベルト」に範をとったとも記されています。

過去の東京シンフォニエッタの定期でこのような長時間の作品を演奏することは無かったのですが、70分の間に、様々な異次元体験をなされることと確信しています。我が国ではまだ演奏される機会の少ないハースですが、これを機会に彼の作品の魅力が伝わって行き、音楽的に意味の深い微分音程の使用による世界観をお楽しみいただきたいと思います。

今回はそれに合わせ、入野賞受賞作であるイン・ワンの“*Focus-Axis*”を演奏いたします。この作品も様々な魅力を含んでいる作品で、お楽しみいただけたらと思います。皆様ぜひお越しください。

東京シンフォニエッタ音楽監督：板倉 康明



©Eric MANIAS

音楽監督 板倉 康明



©堀田力丸

アンサンブル 東京シンフォニエッタ Tokyo Sinfonietta

イン・ワン

Ying Wang (1976-)



上海生まれ。上海音楽学院とケルン音楽・舞踊大学で学び、2011年国家演奏家資格取得。10年にフランクフルト音楽・舞台芸術大学で現代音楽の博士号を取得。12年IRCAMで作曲・音楽情報学コースを受講。マルクス・シュテンツ、ブラッド・ルブマン、マーカス・クリード、ムーハイ・タン、ドミートリー・スロボドニューク、カミラ・ホイテンガ、アンサンブル・フォニックス・バーゼル、ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、ギョルツェニヒ管弦楽団、ブランデンブルク・シンフォニー、ギーゼン州立劇場フィルハーモニー、アヴァンティ室内管弦楽団等が作品を演奏している。

これまでにSWR、DLF、エルンスト・フォン・ジューメンス音楽基金、ルツェルン音楽祭、カッセル音楽祭等から委嘱を受けている。

09-10年インターナショナル・アンサンブル・モダン・アカデミー奨学生、実験スタジオSWRのマトリクス11、マトリクス12を受講。13年ギガヘルツ賞、同年第5回ブランデンブルク・ビエンナーレ作曲賞、14年第35回入野賞を受賞。14年オーストリア連邦首相府コンポーザー・イン・レジデンス。17年よりクンストラハウス・シュライヤー奨学生。ケルンおよび北京在住。

ゲオルク・フリードリヒ・ハース

Georg Friedrich Haas (1953-)



オーストリアのグラーツ生まれ。グラーツ音楽大学でゲスタ・ノイヴィルトとエルト・イヴァンに作曲を、ドリス・ウルフにピアノを師事。1978年より同大学で対位法、現代音楽作曲法、分析、微分音楽概論を教える。81-83年ウィーン音楽大学大学院でフリードリヒ・チェルハに師事、91年IRCAMの作曲家のための音楽情報学のコース、80、88年、90年ダルムシュタット夏季講習会に参加、2004年には同講習会の講師を務める。

92年サンド賞、04年ウィーン市音楽賞、05年アンドラーシュ・ドヴォルスキー賞、06年オーストリア国家大賞、13年ザルツブルク音楽賞を受賞。96年室内オペラ「夜」がウィーン市のエルンスト・クルシェネク賞を、00年「ヴァイオリン協奏曲」がユネスコ国際作曲家会議賞を、10年「リミテッド・アプロクシメーション」が南西ドイツ放送交響楽団作曲賞を受賞。

04年ブリュッセルのアルス・ムジカおよび06年ベルゲンのポレアリス音楽祭のフェスティバル・コンポーザー、11年ルツェルン音楽祭コンポーザー・イン・レジデンス。

05-13年バーゼル音楽大学講師、13年から現在までコロンビア大学音楽学部の教授(作曲)を務める。

次回定期演奏会の予告

第39回定期演奏会 Autour d'une harpe (仮題)

2016年7月8日(金) 19:00～ 場所：サントリーホール プルーローズ

■主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ts/>

■助成：芸術文化振興基金 公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

■チケットお取り扱い：東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/>

■お問い合わせ：東京コンサーツ 03-3226-9755 (月～金 10:00～18:00) <http://tokyo-concerts.co.jp> (HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます。)

■東京文化会館：JR上野駅「公園口」正面

※出演者・曲目は予告なしに変更になる場合があります。